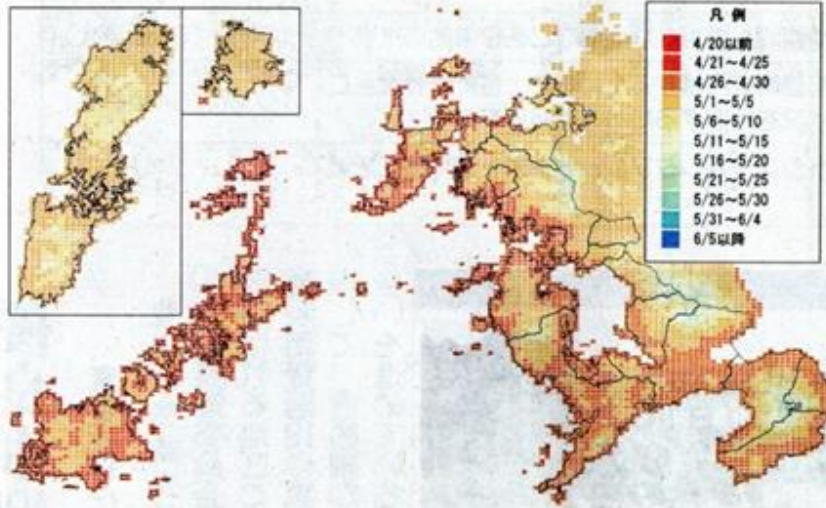


マップの一例＝3月1日出芽時に収量10㌧当たり  
3.5㌧に到達する時期（平均到達日）



# バレイシヨの収量到達日をマップ化

## アイマサリの春作マルチ栽培で試算

現場で使える！研究成果

長崎県が育成したバレイシヨ「アイマサリ」は、春作マルチ栽培で10㌧当たり4㌧の収量が期待でき、早期肥大性があることから4月下旬の収穫でも10㌧当たり3㌧の確保が期待できる。

通常4月は5月に比べ市場単価が高いため、作型をうまく組み合わせることにより、労力の分散に加え機械・労力の効率的利用や規模拡大、所得向上が見込まれる。そこで作型の選択や組

み合わせの検討に役立つ情報として、「出芽期が〇月〇日ごろの場合に、10㌧当たり収量が〇㌧に達するのは〇月〇日ごろ」ということがわかるマップ（1㌧別メッシュ地図）を作成した。

目標収量到達日は春作マルチ栽培アイマサリ用の生育予測式を用いて、出芽期以降の日平均気温から1㌧別メッシュごとに計算した。用いた日平均気温データは2001年以降20年間の各年のデ

ータ（農研機構メッシュ農業気象データ）で、20年分の計算結果を平均した日を目標収量到達日として色分け表示した。

今回、出芽期が2月21日と3月1日・11日・21日の4パターン、目標収量は3㌧と3・5㌧、4㌧の3パターンで、合計12のマップを作成した。今後は当年の気温データをを用いた出荷予測方法の検討や、アイマサリ以外の品種のマップ作成に取り組み予定だ。（農林技術開発センター）